# NUEVA

# ヌエバでチャンピオンを目指せ!!


国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権(インカレ)
唯一の公式試合球



日本ハンドボール協会検定球




## 本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球
**32H300WRB　ヌエバ**
●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球
**32H200WRB　ヌエバ**
●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

# 訃報　斎藤英四郎名誉会長が死去される



（財）日本ハンドボール協会斎藤英四郎名誉会長は、病気療養中のところ、薬石効なく4月22日に心不全のためお亡くなりになられました。

斎藤名誉会長は、昭和52年に日本ハンドボール協会会長に就任され、平成7年まで会長職を務められました。この間日本ハンドボール協会の財団法人化を図り、発展に尽力なされました。名誉会長となられてからも、熊本での世界選手権の成功にご協力を賜るなど、ハンドボール界に多大な功績を残されました。

また、この間新日鉄社長、会長、さらに経団連会長を務められるなど、日本経済界の重鎮としてご活躍なされました。

まだ私たちの記憶に新しい長野オリンピックでは組織委員会会長を務められ、その功績に対して国際オリンピック委員会（IOC）から日本人では数少ないオリンピックオーダー金章を受章されています。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

## 斎藤英四郎名誉会長の日本ハンドボール協会における足跡

| | |
|---|---|
| 昭和52年4月 | 第6代日本ハンドボール協会会長に就任<br>平成7年まで9期18年間会長職を務める |
| 昭和56年3月 | 日本協会財団法人化　初代会長となる |
| 平成7年4月 | 日本協会名誉会長となる |

<叙勲・褒賞など>

| | |
|---|---|
| 昭和42年10月 | 藍綬褒章 |
| 昭和57年11月 | 勲一等瑞宝章 |
| 平成2年4月 | 勲一等旭日大綬章 |
| 平成10年 | オリンピックオーダー金章 |

（次号にて、追悼特集を行います）



# 広島メイプルレッズ NPO法人認証届出



広島メイプルレッズ副部長　山　本　　　一

今年３月、第26回日本リーグで４連覇５度目の優勝を果した広島メイプルレッズは、５月17日広島県環境生活部県民文化室にＮＰＯ法人認証の届出を行ないました。

広島メイプルレッズの前身であるイズミ女子ハンドボール部は、1994年韓国よりスーパーエース林五卿氏（現監督兼選手）を迎え創部したチームで、その後の活動は皆様ご存知の通りです。

しかしながら、ハンドボールだけでなく過去名声を博した企業スポーツが次々と休廃部に追い込まれている昨今です。

企業スポーツが相次いでやめていく原因を考えてみると、

① 企業にとって構造改革の一環としてのリストラ、宣伝効果がなく、社内でのスポーツ選手に対する特別扱いができなくなった……などなど。

② 世界のメジャースポーツがリアルタイムでメディアから流れることにより、注目はそちらに向くと同時に、マスコミに取り上げられる頻度も少なくなっていく。

などが考えられ、単一企業でスポーツクラブを維持することが難しくなり、地域に密着した活動であれば応分の支援をしていこうという考えになってきました。

そうした社会の変化に対し、昨年７月イズミ女子ハンドボール部は、広島県、広島市のバックアップのもと企業、市民が応援する広島女子ハンドボールクラブ（チーム名：広島メイプルレッズ）となりました。

クラブとして活動した１年間を振り返ってみると、選手達と同じ職場の人達との一体感は以前とは比較にならないくらい増し、マスコミに取り上げられる回数が多くなったことで一般市民の方からも応援されることが多くなってきました。

クラブとしての活動を続ける中で、もっと広く活動を展開していくための方法を模索するうちにＮＰＯ法人化しかないとの結論に達し、今回の申請となったわけです。

ＮＰＯ法人とは、Non Profit Organization の略称で、法的名称は特定非営利活動法人です。その活動は、一言でいえば営利を目的とせず、開かれた市民社会実現のために活動する団体です。

ＮＰＯ法人になることで、市民の主体的な社会参加が期待できます。これにより、今までの行政主体であった社会構造から官民一体となった社会構造への変革の可能性も秘めています。今まで行政の手の届かなかった面でのサービスがＮＰＯ法人となったスポーツ団体の活躍により可能になります。行政サイドからみれば、法人格をもつ団体であれば容易に施設の管理、イベントや教室の運営などの事業を依託することができます。行政と市民がスクラムを組む絶好のチャンスが巡ってくるわけです。

つまり、現在活動している団体（スポーツ団体だけでなく）の多くは法人格を持たない団体として活動しています。そのため、銀行で口座を開設したり、事務所を借りたり、不動産の登記をしたり、電話を設置す

るなどの法律行為を行なう場合には、団体名で行なうことはできず、さまざまな不都合が生じています。

これらの団体が法人格を取得することにより、このような不都合を解消できるわけです。

ＮＰＯ法の三本柱は、①法人格の取得、②税の優遇制度、③情報公開、であろうかと思います。

①の法人格の取得についてのメリットは前述の通りで、③の情報公開ついては、市民に開かれた団体を目指すのですから当然のことです。

活発な団体活動を行なうにあたり、最も関心が寄せられるのは②の税の優遇制度です。これまでの活動は、企業からの広告宣伝費、協賛金、市民からの賛助会費等によって運営されていましたが、企業の広告宣伝費、協賛金が経費として認められるには限度があります。ＮＰＯ法人取得後、活動状況を見た上で、国税庁の認定を得られれば、こうした企業からの協賛金が損金として計上されるようになります。

そうすれば、企業も地域貢献活動として積極的な支援をしやすくなります。

ＮＰＯ法人になれる団体は、

イ．特定非営利活動を行なうことを主たる目的とすること。

ロ．営利を目的としないこと。

ハ．……

などを主とした８つの要件を満たすことが必要となっています。

また、特定非営利活動とは、

① 保健、医療又は福祉の増進を図る活動。

② 社会教育の推進を図る活動。



**ＮＰＯ法人書類を渡す**
**山下　泉　広島女子スポーツクラブ代表**
**板東博明　広島メイプルレッズ部長**

などが12分野の特定非営利活動を行なうことを主たる目的とする団体であることになりますが、その中の１つに文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動という分野があり、スポーツ団体はこれに該当するわけです。

ＮＰＯ法人認証申請後、２ケ月の縦覧期間、２ケ月以内の所轄官庁の書類審査などを終えた後、認証の決定があり登記所に登記手続きを行ないます。

そこで晴れて、特定非営利活動法人広島女子スポーツクラブの成立となります。

あえてハンドボールの名を外し、広島女子スポーツクラブとしたのは、広く女子スポーツに門戸を開くということも視野に入れているからです。

広島女子スポーツクラブのＮＰＯ法人化は、遅くとも今年の９月末までにはできるはずです。

コーチシンポジウムより

# スポーツ界の現状

杉山　茂
（ワールドカップ放送業務局長
日本体育協会国体委員会委員）



“スポーツの自立”がこれからのスポーツ界（競技団体）に要求されることである。ひとつの例として、スポーツを職業とすることを真剣に考えていくことがあげられる。そうしたことも含めて自立に向かって何をしていくかを考え、もっとハンドボールをアピールしていく必要がある。

様々な方策があるが、小学校のハンドボールとメディアでの取り上げとの融合をはかることも考えられよう。そのためには、教材と競技の接点をどのように持つかが課題であり、ハンドボールのメジャー化へのキーポイントとなる。

次に考えなければならないのは集金力であり、ＴＶとの提携が不可欠となる。そのためにトップの強化が必要である。参考例であるが、アラブ・アフリカの連合を考えたとき、ステートアマチュアが当地で既に登場している。オイルダラーをベースとする政治力を発揮し、エジプト、カタール、サウジアラビアの進出がその背景にある。これは、フランスのスポーツ強化の影響（旧植民地主義の影響）が考えられる。

次に考えなければならないのは、遊ぶ・楽しむ・強くする・見るハンドボールを分けていくという視点である。６－３－３－４の学制で区切るあり方は通用しなくなっている。これは、国体が開催県にとって望まれる大会とはなっていない現状があるためである。競技団体と地方行政との折り合いをきちっとつけていかないと国体が認知されなくなる。方向性として夏と秋の大会を合体させることが検討されている。つまり、参加人数について全競技削減の方向が検討されており、年内調整の方向が打ち出されている。また、いわゆるジプシー選手については２年間隔にするなども前向きに検討されている。

“スポーツの自立”のためにも、地域、国家との共生をはかっていかなければならない。



# 参加者のアンケートから

## 1）実技講習に関して

①参考になった（パスワークなど）
②女子ナショナルのメニューは段階的でわかりやすかった
③基礎的内容が多い。もっと時間をとり、基礎から応用まで内容を深めて欲しい
④実技は（理解している）ナショナルチームのプレーヤーで行って欲しい
⑤マイクが聞き取りにくく、レジメ等の準備があるとありがたかった

## 2）指導者の事例報告

①学ぶべきことが多く参考になった
②指導者の努力が伝わった
③よく理解でき、大変よくまとまり刺激・感銘を受けた
④非常におもしろく、資料も整っていた。
⑤初心者から、そして短い時間でのトレーニングの具体的な内容がしりたかった。

## 3）レフェリーとのパネルディスカッション

①事例を上げながらの進行が良く幾つかの点についてルールの理解が明らかになった。わかりやすく、良かった
②レフェリーとコーチが一同に会し討議することに意義がある
③このような話し合いを多く持ち、検討が必要。あと２．３事例とりあげる時間が欲しい
④もっと現場で吹いている人や中、高の先生の現場の意見を聞きたい
⑤新ルールにつき少し具体的に理解できた

## 4）その他の講習に関して

ゲーム分析
①パソコンを是非利用してみたい
②ソフトの充実など今後の発展が楽しみ

NTSについて
①具体的なプログラムの提示とどんなハンドボールを目指すのかの提示がほしい

## 5）指導委員会の報告誌について

①参考になり必要である
②是非継続してほしい
③用語の統一を
④過去の報告誌がほしいのですが、購入できるのですか？

## 6）今後の講習会へのご意見ご希望

若い人の参加を呼びかけては
問題点を上げてのディスカッションがよい
２年に１度でなく毎年開催を
地方でも開催して欲しい
他国の12歳以下のトレーニングが知りたい
いろいろな意味での意思統一の場としてほしい






# 学連便り

## 合併・混成チームについて

平成14年6月1日(土)10時30分より、港区生涯学習センター会議室において、平成14年度第一回総合役員会が開催され、会長に冨田寛治氏、理事長に福地賢介氏、その他の役員も選出され、全日本学生・東日本学生・西日本学生各選手権大会関係事項、男女世界学生選手権大会及びU―19、同23関係、ルール改正に伴う各地区学連のリーグにおける審判状況報告、日本協会の活動に対する協力関係（がんばれ10万人会運動、OBリーグ回帰運動他)、協賛企業や各地区学連リーグにおける広告依頼関係、その他の報告連絡、確認、検討、審議された中で、特に今回、部員不足による合併・混成チームの状況に関して記したい。

趣味の多様化による影響や、体育会系スポーツクラブ離れ、団体生活を好まないとか、その他からくる競技スポーツとしての、大学運動部への加入部員の減少からか、近時、各地区学連で選手の減少症状が目立ち、大学によっては7名の部員確保がやっとで、チーム維持が困難になっているところもある。このため、監督、コーチ等指導者不在大学の連盟離脱防止が深刻になってきているが、先月号にて紹介された関東学連の女子2部の講習会開催も一例であるが、各地区学連では、講習会・研修会等の開催、その他、試合への参加意欲の惹起、連盟離脱の歯止めに努力しているが、混成チームのリーグ参加が出てきている。

全日本学連では、各地区学連の状況に応じて、各地区学連独自のリーグ構成を認めているが、同一大学でもキャンパスが異なり、別組織の体育会であるならば、同一学連に同一大学の複数参加（例えば、北海道教育大学釧路校と同函館校）や、同一大学の他学連にまたがる参加（例えば近畿大学＝関西学連と近畿大学工学部＝中四国学連）を認めているが、合併・混成チームの参加は、東北学連では青森県所在の学部と岩手県所在の学部が、従来は別々にして参加していたが、お互いが部員不足で合併・混成チームとして参加とか、九州、関西、東海、関東学連の様に全く別の大学が、合併して参加するケースが多くなってきている。

従来であると部員不足で参加を諦めていたが、数は別として同じ高校のハンドボール愛好者が特定大学に偏らず、各大学への進学が分散化してきて、各大学の情報交換が円滑になり、部員不足でもリーグに参加したいので、一緒にという気持ちが混成チームによるリーグ参加に繋がっていると思われる。

既に、中学、高校では、少子化、運動部離れの影響にて、統廃合その他でチーム数そのものの減少がおきているが、若干のタイムラグはあっても、現実的な事態として発生しており、今後の更なる重要課題として、この対応を審議、検討することとなっている。

## 西日本学生選手権大会

諸会議　平成8月8日(木)
開催月日　平成14年8月9日(金)～13日(火)
開催会場　東区スポーツセンター・広島県立総合体育館

## 東日本学生選手権大会

諸会議　平成14年8月15日(木)
開催月日　平成14年8月16日(金)～20日(火)
開催会場　花巻市体育館・富士大学スポーツアリーナ

## 第5回女子世界学生選手権大会

開催月日　平成14年6月25日(木)～7月4日(木)
開催場所　スペイン・バレンシア
選手団日程
平成14年6月17日(月)出発
18日(火)～22日(月)トレーニング（バルセロナ）
23日(火)ヴァレンシアへ移動
24日(水)最終エントリー、代表者会議
25日(木)テクニカルミーティング、開会式
26日(金)～7月3日(水)
第5回女子世界学生選手権大会
4日(木)ヴァレンシア出発
5日(金)帰国

**スタッフ**
チームリーダー
樫塚正一（協会強化委員・全日本学連理事）
ヘッドコーチ
水上一（協会女子強化委員長・筑波大監督）
コーチ
平岡秀雄（東海大学監督）
トレーナー
田村耕一郎（アール医療専門学校）

## 第５回女子世界学生選手権大会参加選手

| ポジション | 氏　名 | 所　属 | 学　年 | 出身校 | 身　長 |
|---|---|---|---|---|---|
| ＧＫ | 稲福　亜津沙 | 福岡教育大学 | 4年 | 那覇西高 | 169 |
| ＧＫ | 木澤　尚子 | 日本体育大学 | 2年 | 初芝橋本 | 168 |
| ＣＰ | 高橋　敦子 | 筑波大学 | 4年 | 四天王寺 | 163 |
| ＣＰ | 森本　美奈子 | 筑波大学 | 4年 | 宣真高校 | 170 |
| ＣＰ | 上町　史織 | 国士館大学 | 4年 | 盛岡二高 | 166 |
| ＣＰ | 鈴木　亜矢 | 日女体大 | 2年 | 小松市立 | 168 |
| ＣＰ | 原田　恵 | シャトレーゼ | | 筑波大学 | 168 |
| ＣＰ | 橋本　寛子 | シャトレーゼ | | 東女体大 | 163 |
| ＣＰ | 早船　愛子 | シャトレーゼ | | 筑波大学 | 165 |
| ＣＰ | 富田　有美 | オムロン | | 武庫川女 | 170 |
| ＣＰ | 太田　智子 | 筑波大学 | 3年 | 福井商業 | 172 |
| ＣＰ | 長田　由佳 | 日女体大 | 3年 | 山梨高校 | 163 |
| ＣＰ | 秋山　美寿々 | 東海大学 | 3年 | 川崎北高 | 170 |
| ＣＰ | 武井　夏紀 | 国士館大学 | 3年 | 北海道二 | 170 |
| ＣＰ | 谷口　尚代 | 筑波大学 | 2年 | 福井商業 | 184 |
| ＣＰ | 千葉　歩 | 筑波大学 | 2年 | 浦和実業 | 166 |

## 男子 U-23「テ・ゼンカップ」（強化合宿）

今回のＵ―23の台湾遠征メンバーの試合結果と全日本Ｐ（Ｕ―19含む）の世界ジュニア選手権大会アジア予選（バンコック）の参加メンバーの結果、それに強化委員会の推薦メンバーと合わせて、世界学生選手権参加メンバーが決定される。

1．参加大会名：テ・ゼンカップ 2002
1．遠征期間：平成14年８月21日(水)～８月27日(火)
22日(木)＝練習試合
23日(金)＝テ・ゼンカップ
24日(土)＝テ・ゼンカップ
25日(日)＝テ・ゼンカップ
26日(月)＝練習試合
27日(火)＝帰国

1．開催場所：台中市（Ta-chia junior School)
1．選手団氏名：
チームリーダー　福地　賢介（日本協会理事・強化委員）
ヘッドコーチ　松　喜美夫（男子強化部副委員長）
コーチ　田村　修治（U-23コーチ・東海大学監督）
ドクター　沖本　信和
（日本協会医科学委員会・九州産業医科大学）

## 参加メンバー

| 選手 | | 氏　名 | 所　属 | 利腕 | 身長 | 出身校 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ＧＫ | 1 | 木下　国大 | 中京大学 | 右 | 182 | 岡崎城西 |
| | 2 | 浦和　克行 | 日本体育大学 | 右 | 176 | 伊奈 |
| | 3 | 宮城　正利 | 中央大学 | 右 | 181 | 興南 |
| ＣＰ | 4 | 中谷　哲也 | 中部大学 | 右 | 192 | 高岡向陵 |
| | 5 | 香川　将之 | 中部大学 | 右 | 184 | 金沢市立工業 |
| | 6 | 當間　広康 | 中央大学 | 右 | 173 | 興南 |
| | 7 | 猪妻　正活 | 早稲田大学 | 右 | 180 | 此花学院 |
| | 8 | 地引　亨 | 順天堂大学 | 右 | 173 | 伊奈 |
| | 9 | 長村　昇 | 日本大学 | 右 | 176 | 横浜商工 |
| | 10 | 若松　龍介 | 日本大学 | 右 | 183 | 千原台 |
| | 11 | 大滝　仁志 | 国士館大学 | 右 | 187 | 三好 |
| | 12 | 酒井　俊樹 | 国士館大学 | 右 | 190 | 南会津 |
| | 13 | 佐々木　中正 | 順天堂大学 | 左 | 181 | 不来方 |
| | 14 | 福田　大樹 | 東海大学 | 右 | 190 | 湘南工大付属 |
| | 15 | 田辺　謙吾 | 東海大学 | 左 | 187 | 城山 |
| | 16 | 河瀬　豊 | 大阪体育大学 | 右 | 192 | 四日市工業 |
| | 17 | 細谷　紀彦 | 大阪体育大学 | 右 | 193 | 香川中央 |
| | 18 | 村上　秀行 | 大阪経済大学 | 右 | 175 | 北陽 |
| | 19 | 吉田　尚寛 | 中部大学 | 右 | 175 | 高岡向陵 |
| | 20 | 福田　拓馬 | 名城大学 | 右 | 182 | 高岡向陵 |
| | 21 | 飯田　健一 | 日本体育大学 | 右 | 175 | 伊奈 |

連載 25

# NTS2002基本方針

(財)日本ハンドボール協会
ＮＴＳ運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

ＮＴＳは、2000年にスタートして、３年目に入りました。この間、日本全国のハンドボール関係者の皆様に大変なご支援をいただいて、ここまですすめて来る事ができました。誠に有難うございます。

さて、本年も４月に運営について全体会議を実施いたし、別表のとおりの「基本方針」を検討・承認いたしました。昨年と大きな変更点はありませんが、まだまだピーアールする必要があることは、我々運営するスタッフが感じているところです。特に、各県レベルへの展開については、まだまだ浸透が足りないと考えられます。

昨年から運営について、ブロック技術委員・県技術委員を設置したことによって、日本協会→ブロック協会→都道府県協会の連携が図れるようになってまいりました。各セクションでのプレゼンテーションもスムースに実施できるようになり、運営委員会からの情報伝達もかなり伝わるようになってまいりました。また、昨年８月には高校体育連盟の皆様にプレゼンテーションする機会を設定していただき、趣旨などについてご理解をいただきました。いずれにしても、組織確立・スムースな運営は今後とも課題であります。

ＮＴＳ2000では、強化指導教本・ＶＴＲを作成して全国９ブロックのトレーニング時に指導者の皆様に購入していただきました。本年は、その第２段としてＮＴＳ2002の強化指導教本・ＶＴＲを作成いたします。テーマとして、次のことに注目しております。

## NTS2002　詳細スケジュール

| 実施月 | 実施項目 | 実施内容 | 役割分担 | ＊公文書 |
|---|---|---|---|---|
| 4月 | 第１回ジェネラルミーティング開催 | 2002年計画検討 | NTSジェネラルミーティング決定 | 日本協会から本人・所属長へ送付 |
| | 世界と日本の強化分析 | 男女ナショナルチーム監督ヒアリング | NTS運営委員会（策定プロジェクト） | 随時 |
| | 第１回NTS2002ブロックミーティング実施 | 実施内容について、プレゼンテーション | NTSコーディネーター＆ブロック技術委員長<br>各県技術委員長 | ブロック協会から本人・所属長へ送付 |
| 4～6月 | ＮＴＳ県推薦選手選出 | 各大会視察選出 | NTSコーディネーター＆ブロック技術委員長<br>各県技術委員長（各県で選考委員選出） | ブロックから各都道府県へ要請依頼<br>各県協会で対応 |
| 4～5月 | 2002指導案作成検討 | 指導案立案プロジェクトで役割分担し、作成 | 指導案立案プロジェクト | 日本協会から本人・所属長へ送付 |
| 5・6月 | 2002指導案シミュレーション検討実施<br>シミュレーションVTR収録 | NTSコーチ会議で実際に指導案実施検討<br>実際に実技を行い、VTR収録 | 指導案立案プロジェクト | 日本協会から本人・所属長へ送付 |
| 7～8月 | ブロックデモンストレーター意志統一 | ブロック毎にインストラクター実際にトライ | NTSコーディネーター＆インストラクター<br>ブロック技術委員長他 | ブロックで随時対応 |
| 7～9月 | NTSブロックトレーニング実施 | 指導実施＆ブロック推薦選手選出 | NTSコーディネーター＆インストラクター<br>ブロック技術委員長他 | ブロック協会から選手本人・所属長へ送付<br>NTSコーディネーター＆インストラクターも同様 |
| 10月 | 第２回ジェネラルミーティング開催 | ブロック実施報告＆センタートレーニング推薦選手選出 | | 日本協会から本人・所属長へ送付 |
| 11月 | NTSセンタートレーニング指導案作成検討 | 指導案立案プロジェクトで役割分担作成<br>シュミレーション実施＆検討 | U-16・19スタッフ、NTSメンバー | 随時対応 |
| 12～1月 | NTSセンタートレーニング実施 | U-12、U-16・19と合同トレーニング<br>U-16・19スタッフとスケジュール調整 | U-16・19スタッフ、NTSメンバー | 日本協会から本人・所属長へ送付 |
| 2月 | 第３回ジェネラルミーティング開催（報告書作成） | 報告書取りまとめ作成 | NTS運営委員会報告書作成グループ | 随時作成 |
| 3月 | 報告書作成 | 報告書取りまとめ作成 | NTS運営委員会報告書作成グループ | 随時作成 |

＊公文書様式は、ＮＴＳ運営委員会が統一して、ブロック技術委員長に送付する。
＊公文書発送費用は、ブロックトレーニング予算内で計上する。

# 目指せクリエイター！

### ゲームを見据えたGood Habit（良い習慣）を獲得しよう！

豊かな戦術能力の養成は、ハンドボール競技の中で重要なポイントとして挙げられます。ブロックトレーニングでは、インストラクターの指導とこの強化指導教本・ＶＴＲをご購入していただき、日常の指導に活用されますよう期待しております。

さらに、トレーニングの指導方法としてＮＴＳインストラクターが指導者の模範となるように事前研修をブロックごとに実施して、当日のトレーニングにあたります。

また、本年はブロックトレーニングから各都道府県でのＮＴＳトレーニング実施を模索していただくように、その展開を視野に入れた取り組みをしていただければ幸いです。本年も全国のハンドボール関係者の皆様の総意を結集していただいて、実りあるものにしていきますのでご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

# ＮＴＳ2002 基本方針

1、ＮＴＳのピーアール
2、ＮＴＳ組織の確立・円滑な運営
3、強化指導教本・ＶＴＲ製作
4、強化指導スタッフのレベルアップ

## 具体的な施策

*1、ＮＴＳのピーアール*



各連盟とのコンタクト
機関誌・スポーツイベントを活用してのＰＲ
都道府県の理事会への出席・プレゼンテーション

*2、ＮＴＳ組織の確立・円滑な運営*



都道府県理事会での技術委員選出と連携
各連盟組織との連携
運営スタッフの増強と組織的な活動及びその役割分担

*3、強化指導教本・ＶＴＲ製作*



ゴールキーパートレーニングの基本技術確立
基本技術戦術の向上
グループ戦術トレーニングのバリエーション策定実施

*4、強化指導スタッフのレベルアップ*



競技者育成プログラム技術委員会との連携
指導スタッフ間の指導理論統一
指導スタッフの増強・育成

# 中学校活動シリーズ その5

神埼町立神埼中学校（佐賀県）

## ① 学校名、指導者名、所在地

神埼町立神埼中学校
中村　さおり（男子）　北崎　顕嗣（女子）
田中　みゆき（男女副）
〒842-0007 佐賀県神埼郡神埼町大字鶴3561
TEL 0952－52－3175　FAX 0952－52－6925

## ② 部員数

男子：２年　３名　１年　３名　計６名（３年生15名）
女子：２年　３名　１年　７名　計10名（３年生５名）

## ③ 部設立時期と部活動継続の苦労話

設立は1972年（昭和47年）です。この年に協会主催の全国中学生大会と九州中学生大会が同時にスタートし、神埼中も九州大会に参加をしました。

佐賀県内の中学校のハンドボール部のチーム数は男子が３チーム、女子が昨年１チーム減って神埼中のみというのが現状です。このように競技人口の少ない中、佐賀県の中学校のハンドボールのレベルを向上させていかなくてはならないことは生徒たちにとって厳しいものではないかと思われます。また、九州地区は沖縄をはじめ、熊本、大分と全国制覇を成し遂げたチームが多数あり、激戦区でもあります。そんな中、昭和62年に多久中央中男子が３位、平成９年に神埼中男子が３位入賞を果たしています。惜しくも代表決定戦で惜敗し全国大会出場は逃しました。生徒たちは先輩が果たせなかった全国大会出場を目指して練習に励んでいますが、九州の壁はとても厚いものです。

神埼町は昭和51年の佐賀国体のハンドボール開催地でした。その影響もあり、ハンドボールが盛んな地域で、保護者の中には元全日本の代表選手や実業団、大学で活躍した方々がたくさんいらっしゃいます。経験がある分、子どもたちに対する期待も大きく、ハンドボールを活性化したいという希望を強く持っておられます。

県内のチーム数が少ないので、練習試合や大会は、熊本、福岡、長崎などへの県外遠征がほとんどです。熊本・天草の大会に出場するときは、早朝４時出発なのですが、保護者の方々は快く生徒の送迎を引き受けてくれます。チーム数が少ない中これまで神埼中ハンドボール部の伝統を築いてこれたのは、保護者の協力があったからこそだと思います。

## ④ 指導にあたって特に留意されていること

私は初任者でこの神埼中に赴任してから４年目になります。ハンドボールを知ったのはこの学校に赴任してからです。始めは何も分かりませんでしたが、幸い以前から顧問をされていた先生が専門の先生でしたので、その先生から多くのことを学ぶことができました。中学校の部活動は教育活動の一貫として行っているものです。ハンドボールの技能を高めることも大切ですが、何よりも「ハンドボールを通して何を学ぶか」が大切だと考え毎日の指導にあたっています。

挨拶や言葉遣い、話を聞く態度、用具の管理などは日々の練習で一番身につけなければならないものです。そしてハンドボールを通してチームの和を大切にできる人間に育てたいと考えています。私は男子の顧問をしていますが、男子の部員は現在６名です。部員不足のなか、明るく毎日頑張っている生徒たちは本当に輝いて見えます。

ここで神埼中の１週間の練習計画をご紹介します。

| | 男子 | | 女子 |
|---|---|---|---|
| 日 | 試合・練習試合・合宿等 | 日 | 試合・練習試合・合宿等 |
| 月 | 学習会（５時まで） | 月 | 学習会（５時まで） |
| 火 | 練　習 | 火 | 練　習 |
| 水 | 練習＋夜練習　７:00～９:00 | 水 | 練　習 |
| 木 | 練　習 | 木 | 練習＋夜練習　７:00～９:00 |
| 金 | 練　習 | 金 | 練　習 |
| 土 | 試合・練習試合・合宿等 | 土 | 試合・練習試合・合宿等 |
| 祝 | 試合・練習試合・合宿等 | 祝 | 試合・練習試合・合宿等 |

神埼中では月曜日を統一して生徒会活動の日としています。ハンドボールだけを頑張る生徒にはなってはいけない、ハンドボール部の一員として学習や学校生活にも積極的に取り組む生徒になって欲しいという願いも込めて、月曜日は休養を兼ねた学習会または生徒会活動、ボランティア活動の日としています。

**神埼中ハンドボール部の方針**

○勉強と部活動の両立
○規則の遵守
○個性をもとにした社会的生活経験
○共通目標に向かって努力する経験
○チームプレイに徹し、自制心を養う
○運動の楽しさや喜びを知る
○機敏な行動
○技能向上を図る
○部活動で得たものを日常生活に反映させる

## ⑤ 部員数確保への具体的取り組み事項など

生徒に直接声をかけたり、部員を通して声かけをする程度です。現在男子は部員が少ないので、６年生の男子でハンドボールに興味がある児童に声をかけて土日の練習に参

加してもらい中学生と一緒に練習やゲームを行っています。

### ⑥ 地域社会・近隣小・中・高等学校との連携や関わり方について

神埼はハンドボールの盛んな地域です。同じ町内には昨年一部リーグに昇格したアラコ九州のハンドボールチームがあります。また、隣接している神埼高校、神埼清明高校にもハンドボール部があり、週一回夜の7：00～9：00まで高校の体育館を使用し、高校生と社会人チームとの合同練習会に参加させていただいています。

また、練習環境にも恵まれています。アラコ九州の体育館は、リーグ戦や選手の練習がない限り、借用することができます。大会前の練習や県外チームとの練習試合などで度々利用させていただいています。本来、室内種目のハンドボールですが学校現場では体育館を使用して練習することはほとんどできません。そんな中で正式なコートで、しかも体育館で練習ができるということはとても幸せなことです。

このように神埼町はハンドボールを行うには素晴らしい環境です。これからは、もっと小学校との連携を強めて小学生にハンドボールの楽しさを伝えていく必要があると思います。実際部活動を引退した3年生は、受験勉強の合間をぬって週2回ほど小学生にハンドボールを教えに行ってくれています。そこで、ハンドボールに触れ、ハンドボールに親しんだ小学生が中学校に入学して、ハンドボール部に入部してくれることを生徒たちも私自身も心待ちにしています。

### ⑦ ある日の練習メニュー

ランニング・体操・ストレッチ
フットワーク
ディフェンス練習
三角パス
ランニングパス
シュート練習
ワンパス速攻・速攻パターン
女子と3対3の攻防
女子とゲーム
整理運動



### ⑧ 小・中学生などの若年層の競技人口の拡大に向けて

佐賀県では、毎年12月に協会主催の室内選手権という大会が行われています。この大会はハンドボールの普及を目的とし、経験を問わず誰でも参加できる大会です。実際、野球部や陸上部がシーズンのオフのトレーニングの一貫として参加をしています。

小学校ではハンドボールを経験された保護者の方が土日などに指導をされています。このようにまずは、野球、サッカー、などと同じように小・中学生にハンドボールを経験させる場の設定を大人たちが行うことが競技人口拡大につながると思います。

体育の授業で、ハンドボールを子どもたちが楽しく取り組めるように教師が工夫することも必要です。

### ⑨ ハンドボール文化を日本で定着させるためには…

まずは、多くの人にハンドボール競技について知ってもらうことが必要だと思います。そのためには、野球やサッカーのようにゲームの様子などをテレビで放映したり、ハンドボールの魅力的な部分を宣伝したりするべきだと思います。多くの人々に知ってもらい、体験する機会を多くつくることが急務なのではないでしょうか。

さらに地域に根ざすハンドボールを目指すために、学校単位での活動から更に発展させ、クラブチームのような組織運営ができるよう、底上げを図る必要があると思います。

# スペイン留学選手近況報告

## リーグ戦最終結果

**◆スペイン3部リーグ　グループC　14チーム**

**加藤圭介**

LA ROCA　26戦11勝2分13敗（9位）

**小倉　学**

ADRIANENC　26戦8勝3分15敗（13位）

**宮崎大輔**

GRANOLLERS　26戦20勝1分5敗（2位）

**◆スペイン1部リーグ　16チーム**

**内田雄士**

GRANOLLERS　26戦10勝5分13敗（10位）

## 選手個人戦評

### 加藤圭介（LA ROCA）

シーズンを振り返り、彼にとっては自分の実力を発揮できない不本意な1年ではなかったかと思う。実力的にも十分通用するものだと思っていたが、やはり環境の変化、言葉の問題、戦術の違い(戦術の理解)など予想以上に苦しんでいた。また、試合出場時間も限られ彼自身のパフォーマンスを発揮できない苛立ちが悪循環となり自分を追い込んでいったようにも見うけられた（リーグ途中の足首等のケガにより十分なプレーができなかった)。

しかし、彼自身の中でひとつの壁があったものを、彼自身で考え努力し、克服していったように思う。実際のプレー時間は少なかったものの、多くのいろいろな体験によりスペインでの彼は確実にプレー・メンタル、特にメンタル面は大きく成長した。彼自身も来期に向け今年以上の成績を収めるための意欲を前面に出して、今もトレーニングしている。

来期には今年以上の成長が期待できるものだと思う。

### 小倉　学（ADRIANENC）

彼はシーズン全26試合中、約半分の12試合をケガによりプレーを行うことができていない（シーズン後半の9試合欠場、練習中の肩の亜脱臼のため)。ケガの原因は、ウェートトレーニングが出来ていなかったことが挙げられる（やはり3部といえどもあたりが激しく身体作りは最低な必要項目である)。

しかし、十分な体調の際の彼は、チームの中心選手にまで成長していき試合によっては、多くのゴールをあげることにより存在をアピールしていた。しかし、彼の課題として、高いDFでの攻撃を練習していかなければならない。走り込んでのシュートは威力があり、魅力的だけにDFができないのは残念である。

また、彼自身DFが出来ないためオフェンスのみの出場となり、速攻などの得点がない（彼自身強いあたりができない。練習中も同様である…監督談)。

ケガと精神面のタフネスさが課題となっている。

## 宮崎大輔（GRANOLLERS）

今シーズン彼のスペインでの活躍はすばらしいものであったと思う。

当初、日本での国際ゲーム出場によりスペインでの合流が遅れ、また指の骨折・バルセロナチームの外国人枠の問題等によりリーグ前半の6試合を欠場する事になったが、その後のGRANOLLERSへの移籍によって、全ての問題がクリアーされたことにより、彼自身も他の選手より出遅れた部分を取り戻すために積極的に練習に取り組んだ。

また、GRANOLLERSの練習環境が非常に良く、1軍での練習にも参加し、スペインの1部リーグの選手とトレーニングを共にすることにより、彼自身おおいに刺激を受け、更なる成長が見られた。

試合においても、チームになくてはならない選手になり、各試合、約10得点を取れる選手に成長していった。

GRANOLLERSのチーム成績もグループ2位となり、予備入れ替え戦・入れ替え戦と戦い、ついに3部スペインチャンピオンになった。入れ替え戦も同様に、彼の活躍が認められ、多くのチームの監督が宮崎に対し関心・興味をもっている。

スペインでの生活にも慣れ、プレー同様に精神面の成長も著しいものである。

来期もスペインでプレーすることを望み、彼自身心待ちにしている。

来期の彼の成長も今年以上に期待が持てるものであると、彼を見ていて感じている。

## 内田雄士（GRANOLLERS）

内田に関しては他の選手と違い、シーズン当初からGRANOLLERSの1部での契約となったために、スペインリーグ初の日本人選手となった。

しかし、世界のスター選手が揃っているGRANOLLERSで前半戦は試合出場の機会がないものの、高いレベルの選手と練習を共に行うことにより、自らの実力アップに努めた。自分に足りないものは何か考え、また徐々にではあるが、日々の努力により実力的にもチームに認められる存在になってきた。

長期のリーグ戦のため、チーム内にも故障者が出ることにより後半のリーグ戦への出場チャンスが彼にもめぐってきた。

彼自身、試合に出場するための準備は、十分に行ってきた。20戦目から徐々に出場機会が増え、24戦目のBIDASOA戦に初めてフル出場し、サイド・速攻と4得点を上げ、チームの勝利におおいに貢献し、存在を示した。その後も、25戦フル出場（PORTLAND SAN ANTONIO）・26戦前半10分出場（BMGALDAR）と彼自身にとって大きな経験と財産になる試合であった。

私自身、彼の成長は宮崎同様にこの1年で大きく変化したことだと思う。またプロ集団の中で日々練習することにより、彼自身の考え方の変化・勝利への執念など多くのものを学び、今ではたくましさまで感じている。

彼も同様に来期のスペインでのプレーを望んでいるし、今年以上の成長が期待できると思う。

# 英国便り

梅基幸一

イギリスの方もめっきり春らしくなってきたかと思うと、春の嵐のように肌寒い日があったり安定しない天気の中、やはりKOREA ＆ JAPANのWORLD CUPへ向けて、PREMIERSHIPが最終の週を迎えようとしています。

昨日そのPREMIERSHIPを直接観戦する機会があり、そのとき感じたことをメールいたします。

まず当日の様子をお伝えする前に、現在のPREMIERSHIPの状況を簡単にお伝えします。チーム数は20チーム。当然日本でもおなじみの稲本などが所属するArsenalなどの日本でいう1部リーグです。以下はまだあまり情報を得ていないのですが、Division 2、などがあります。

4月26日までの順位は、Arsenal、Liverpool、Manchester United、Newcastle United、Chelseaと1位から5位までです。勝ち点制で現在は78点のArsenal、74点 Liverpool、73点 Manchester Unitedが2試合を残して優勝の可能性があるチームとなっています。

観戦することが出来た試合は、Aston Villaという Birminghamにあるチームのホームゲームで Southamptonを迎えて行われたホーム最終試合でした。現在は10位で勝ち点は44点でちょうどリーグの真ん中の実力です。

日時は、4月27日（土）の午後3時KICK OFF。私はOxfordから電車で1時間20分くらいかけて観戦に行きました。行きの電車から、ちょうど対戦相手であるSouthamptonのサポーターも同じ電車に乗り合わせ、オーナーがWelsh（ウエールズ地方の出身）なもので、サポーターも赤を基調にしたタータンチェックのベレー帽をかぶってすでにビール（多分ビター）を飲みながら大騒ぎしていました。会場は44,000人収容できるfootball専用の会場で、試合開始前までにすでに満員状態で、グラウンドに近い観客席では異様な雰囲気でした。私は幸か不幸か、3回のBox席で2時頃から食事をして、そのガラスで仕切られた外の観客席から観戦しました。試合はホームのAston Villaが先制し結局2対1でAston Villaが勝ちました。具体的な試合内容については、またいつかの機会としまして、今回は観客や会場の雰囲気等について少し触れたいと思います。

試合前から試合中・後の観客ですが、かなり遠くから来ているサポーターもいるようで、一見してそれとわかる面立ちでいます。「フーリガン」で有名なイギリスですが、その血はなんとなくわかるような気がしました。

試合中ははっきりと自分の好みのチーム・選手に対して声援を送り、それ以外（敵）へは“ブー、ブー”とブーイング。そして良いプレー（こちらではファンタスティック？かな）は惜しみない拍手をしていました。そして大きな風船は飛んでいましたが物を投げるわけでもなく、予想していたより全然大人でした。すべての観客が退場するまで残っていましたが、会場もごみが散乱するわけでもなく、少しは落ちていましたが、観客数の割りには例年プレーオフで経験していたようなゴミの量ではないように感じました。自覚があり大人

であるなと感じました。

会場は先ほど少し触れましたが、44,000人収容できる会場で、イギリス国内でも5番目くらいの大きさのようです。私は一般観客席ではないため、入場できたところの様子だけですが、まずはBarがあり、そこで自分のほしい飲み物でfootball関係のTVを見ながら今日の試合のことなどを話した後、食事に入り一通りのコースでデザートまで進んだころ各チームがウォームアップを始めだしました。約30分くらい前です。

簡単な見取り図を付けますが、グラウンドのすぐ横から観客席が始まり、3階席までかなり高いところまであります。やはり専用会場なのでレイアウトもそれ用にできるのではないでしょうか。

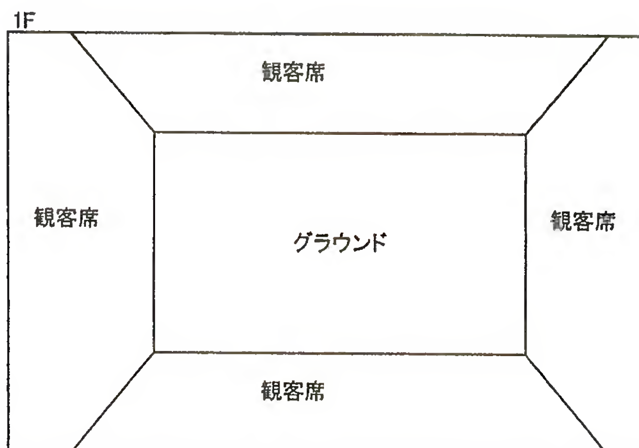
雰囲気は娯楽としての観戦が定着しているなという感じです。こちらの人はその辺が上手いなと感じました。日本は、スポーツ=教育。潔癖な、人の見本にならないといけない。そのような感覚を持っている？のではないでしょうか。観客もよくそのスポーツのルール、試合の出来、不出来を見る目を持っていて、今までスポーツをしていた身として、同じような感覚で見ることが出来ました（ex.プレーのタイミングが遅いとか早いとか、逆へパスなど)。

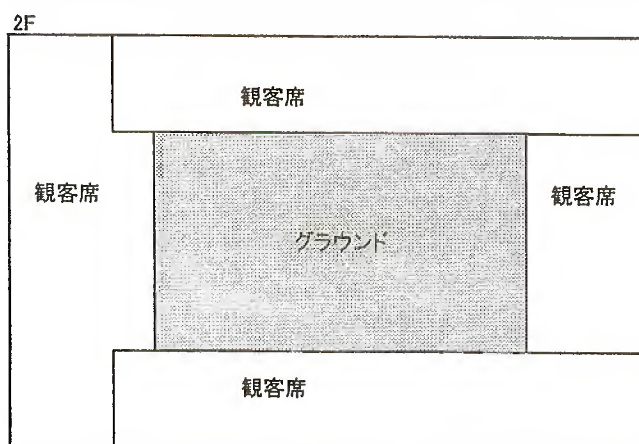
セキュリティーの面でも試合が終わると120〜130人くらいの人間がグラウンドと観客席の間に立ち、騒ぐのを牽制している、事前に管理しているように思えました。やはり運営面でも、観客に対する配慮の面でも参考になる観戦でした。

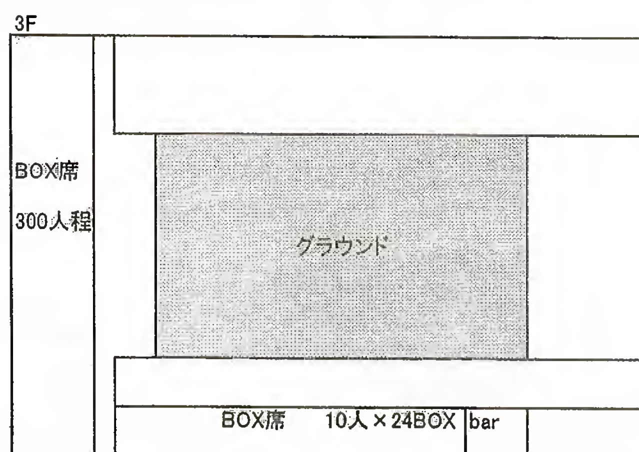
いろいろまとまりなく書きましたが、少しでもこれからのJHLに参考になればと思います。

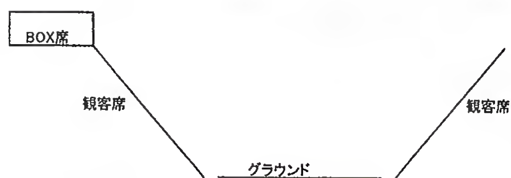
＊この「便り」は、４月末に受け取ったものです。

VILLA STADIUM






# 新たな姿求めNPO申請

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw（フリースロー）

一時は活動休止が伝えられた日本リーグ女子のブラザー工業が「名古屋ＨＣ」として新たな道を歩むことでリーグ参加が決まった。日立栃木、立山アルミ、ムネカタが撤退し、９チームから一気に４チーム減となり、５チーム体制もやむなしのピンチから一応脱出できたことは、まずは何よりである。

経済界の厳しい現実が続く中で、まだまだ将来の展望が開けないことも事実である。これは何もハンドボール界に限ったことではない。バレーボールＶリーグ男子の名門・富士フィルムが撤退し、今年度のリーグから男女とも予定を前倒しして８チーム制にすることになるが、他のリーグでもいつ、どこが撤退しないとも限らない。

一方で、日本のスポーツ界はこれまで長い間、企業に既存していた部分が多かったが、脱企業を見据えて新しい道を模索するいい時期かもしれない。その先陣を切ったのが、男子のＨＣ東京、女子の広島メイプルレッズ。両チームとも運営は決して楽ではないが、地域と連係して日々努力している。

そうした中で、広島メイプルレッズを運営する広島女子ハンドボールクラブが５月中旬、広島女子スポーツクラブと名称を変えて広島県に特定非営利活動（ＮＰＯ）法人の認証を申請した。

メイプルは昨年７月、イズミからクラブチームに移行、練習環境などが一変するなどにもかかわらず、全日本実業団、全日本総合選手権に続いて今年３月には日本リーグで４連勝、女王の座を守り通してきた。

こうした動きは広島県体協主導で浮上している総合型スポーツクラブの先取りの意味もあり、他の競技団体が参加しての総合型クラブを目指す第一歩である。

企業など法人からのＮＰＯへの寄付金は損金処理でき、ＮＰＯ側も非課税扱いになる。言い換えれば寄付を出す側、受ける側双方とも税制上のメリットがあるわけだ。

これによって地域がスポーツクラブを育てる新しい姿が描かれるし、将来的には地域密着型の総合スポーツクラブへつなごうというわけで、時代を先取りした動きといえるだろう。

今回の申請は４ヶ月後の９月にも認証されることになる見込みだが、国内のトップチームがＮＰＯ法人化するのは、全国でも珍しいということだ。異競技交流のトップスを立ち上げ、全国的に注目を集めた広島が再びＮＰＯ法人化で脚光を浴びようとしている。広島スポーツクラブの今後をしっかりと見守りたい。

# SUPER CHALLENGE 2002

# 世界の最高峰フランスがやってくる

2001年初春の第17回世界選手権で95年の第14回大会以来２回目の優勝に輝いたフランス。ダイナミックかつテクニカル、そしてムード派の代表ともいえるアグレッシブなハンドボールは、いったん勢いづくと怒濤の勢いで頂点目指して駆け上がる。2004年のアテネ・オリンピックでも、文句なしの優勝候補にあげられる。

そんな現代最強の王者に挑むのが日本代表。2000年秋にスタートしたアテネ強化プロジェクトのもと、アテネ・オリンピックの出場権獲得、そして本大会での上位進出を大目標にかかげ、意欲的なチャレンジを展開している。有望な若手選手を本場のプロリーグに送り込んだり、日本代表チームが国内外の国際大会に数多く参加することで大きく成長を遂げた。国内５都市を転戦するフランスとのサーキットで、さらに飛躍的な成果を得る期待がふくらむ。

2008年の北京オリンピックを視野に入れた若手の日本代表Ｐが、日本リーグ各チームと前座試合を行うのももうひとつの見どころ。




### 大会日程

| | | | |
|---|---|---|---|
| **熊本大会**<br>**7月3日（WED）** | **熊本県立総合体育館**<br>熊本県熊本市上熊本１－９－28<br>TEL：096－356－1233 | 16：00～<br>17：00～<br>18：30～ | オープニングセレモニー<br>日本代表Ｐ vs 本田技研熊本<br>**日本代表 vs フランス代表** |
| **神戸大会**<br>**7月4日（THU）** | **グリーンアリーナ神戸**<br>兵庫県神戸市須磨区緑台<br>TEL：078－796－1155 | 17：00～<br>18：30～ | 日本代表Ｐ vs トヨタ車体<br>**日本代表 vs フランス代表** |
| **岐阜大会**<br>**7月6日（SAT）** | **岐阜アリーナ**<br>岐阜県岐阜市薮田南２－１－１<br>TEL：058－272－1336 | 14：00～<br>15：30～ | 日本代表Ｐ vs トヨタ車体<br>**日本代表 vs フランス代表** |
| **名古屋大会**<br>**7月7日（SUN）** | **愛知県中村スポーツセンター**<br>愛知県名古屋市中村区中村町字待屋43－１<br>TEL：052－413－8021 | 14：00～<br>15：30～ | 日本代表Ｐ vs 大崎電気<br>**日本代表 vs フランス代表** |
| **川崎大会**<br>**7月9日（TUE）** | **神奈川県川崎市とどろきアリーナ**<br>神奈川県川崎市中原区等々力１－３<br>TEL：044－798－5000 | 16：00～<br>17：30～ | 日本代表Ｐ vs 大崎電気<br>**日本代表 vs フランス代表** |

# ・人・物・登・場・～そのとき活躍した人々～

人物登場。今回ご登場いただくのは。

## 太田　利彦 さん

（おおた　としひこ）

昭和８年12月18日生



岩手県盛岡市出身。盛岡第一高等学校から岩手大学学芸学部（現教育学部）卒業。盛岡市内の中・高等学校勤務ののち、昭和41年より岩手大学で教鞭を執り、平成11年３月定年退職まで43年間の教員生活。高校時代には体操競技を経験。第８回四国国体で団体徒手体操一般男子第３位入賞。第19回国体からハンドボール教員男子で出場、第20回岐阜国体で教員男子第３位入賞。第24回国体まで、選手（教員男子）・監督（一般女子）で出場する。第25回岩手国体では協会副理事長として大会運営に専念。翌46年より理事長として16年間、組織整備・選手強化に当たる。この間、岩手県体育協会理事をつとめ岩手県本部役員として計39回国体に参加、東四国国体で国体功労者表彰を受け、昭和62年４月から副会長。平成11年５月、岩手大学名誉教授。

### ハンドボールとの出会いについて教えて下さい。

選手としての出会いは昭和38年、国体に教員男子の部が新設された年でした。当時の勤務校、盛岡商業高校保健体育科が高体連事務局を担当しており、事務局長佐藤敦先生（前協会理事長・故人）が東京体専（後に東京教育大に合併）時代にハンドボールを経験し、前任の宮城県教員時代には、東北の普及に努力されたこともあって監督をお願いし、ハンドボール経験者３人を中心に、陸上競技・バスケットボール・バレーボール・体操競技などの小・中・高の体育教員が集まって初の国体を狙いました。この年は国体出場は果たせなかったですが、２年後には見事３位入賞を勝ち取ることができました。しかし、私自身ハンドボールを意識したのは昭和２４年のこと。岩手のハンドボールの父と言われる、箱崎敬吉現岩手県ハンドボール協会長が新卒（東京高師－東京教育大－現筑波大）で赴任した盛岡一高でのことでした。当時私は体操部に属し、小さくて軽いことが誇り。従って、ニュースポーツ、ハンドボールの部活動は激しく、雨が降っても、校庭が泥んこでも練習を休むことなく続けられ、結果としての国体出場（第５回広島国体）の同級生には拍手こそ送れ、自分とは無縁のスポーツと決めていた(当時11人制)。それが、大学を卒業して勤務した厨川中学校で、昭和34年、初めて企画された中学校ハンドボール競技会（７人制）を準備・運営する役になろうとは、何か見えない糸で結ばれていたように思えてなりません。その後、選手として文字通りハンドボールにのめり込んだのは３度目の出会いでありました。

### 当時のハンドボールについて教えて下さい。

今考えると、別な競技をやっているようなもので、基本を身につけ、やっと女子高生を相手にゲームを経験する有様でした。ほとんどのメンバーが、試合の中で身体接触のない競技だったため、女子高生のボディチェックが激しく、戸惑いを隠せませんでした。プレーにもユニークなプレーが多く、ジャンプシュートをしても、陸上競技ジャンプの選手はワンバウンドのシュートが強すぎ、軽くゴールを狙い、ゴールキーパーをしていたラグビーあがりの選手は体の正面でシュートをキャッチするや、やにわにステップを踏んでハーフライン近くまで走ってしまうなど、今では考えられないプレーが続発していました。しかし徐々にではありますが、ハンドボール特有のプレーにもなじみ、さすがスポーツのエリート、体育科の教師らしくレベルは急速に向上し、やがて全国３位を射止め、以後、国体上位に定着するようなチームに育っていったのです。

### ハンドボールを通して、忘れられない思い出はありますか。

多くの人々との出会いの中で数限りなく思い出はありますが、岩手国体時、当時の日本協会、荒川理事長の温かく思い遣りの深い一言が忘れられません。現地入りする荒川理事長は、開会式前日の移動が普通でしたが、この時はチケットの都合で２日前に盛岡入りとなりました。会場は最後の追い込みで、関係者一同整備に余念がなかった。盛岡会場は県営陸上競技場を手直ししてのハンドボール会場のため、スタンドに囲まれたグランドに、６面のコートが予定されていました。その整備の様子を目の当たりにして、荒川理事長の一言は、「これ以上のコートは、あと畳の上しかないな。」岩手のハンドボール界をリードする、前出の佐藤敦氏、箱崎敬吉氏は共に国体局に入局し、それぞれのパートで責任ある立場にあり、ハンドボール競技は私が実施の責任者にならざるを得ない状況で、大きな不安を持っていました。そんな時の荒川理事長の一言には大変勇気づけられたし、大変うれしかったのを今でも鮮明に思い出します。大会初日、夜半まで降雨がありながら、予定通り外のコートでゲームが開始されて、見事に整備の実が稔った大会でありました。

### 今の日本ハンドボール界に望むことはなんですか。

世界選手権大会・オリンピック大会等世界のトップレベルの大会で上位に定着し、やがて世界一の座に、というのが関係者すべての望みと思う。そのためにもタレント性の高いジュニアの発掘を全国ネットで実施し、組織をあげて強化に当たる、至極当然の対応が必要でしょう。特にタレント性の高い選手を目先の目標に縛り付けることなく、本当に日本を代表する選手に育て上げるにはどうすれば良いのか、多くの関係者の知恵を結集して、長い目で努力を続けることが大切ではないでしょうか。現在の日本ハンドボール協会の向いている方向は、決して間違ってはいないと思います。今後、それぞれの立場を理解し、あらゆるハンドボール環境の整備を進め、大きな目標に向かって努力を続けられることを心から願っています。

連載

# 大塚文雄のハンドボール④

東京の大塚文雄先生が、指導者のいない高校生に向けてハンドボールの解説書を配布されているとの情報を得ました。せっかくの先生のご努力が少しでも多くの方々に理解されるよう、この解説書を大塚先生のご了解を得まして、機関誌に連載いたします。

## ■一時的な戦術目標設定

※攻撃にプレッシャーをかけ中断する。

－パスワークを自由にさせない。

－相手の意図したパスを阻止する。

－ダイナミックな鋭い切り込みを阻止する。

※攻撃の立て直しをさせる。

※攻撃空間を狭くする。

※相手をミスさせる要因を誘発する。

－「戦術的なミス」となるシュートをさせる。

－パスするところが無く仕方なしの１：１。

－無理なパスや暴投のパス。

※攻撃できずにパッシブプレーの誘発。

※危険な数的劣勢の状況を救う。

※パスをインターセプトする。

－基本的なパスコース。

－防御側の誘いのフェイント（一瞬パスコースをあけ、そこにパスさせカットする)。

## ■驚くほど効果のあるプレス防御

※状況に応じての適応

－相手の数がここで１：１にくるな、と云う時に積極的な動きができる。

－相手のフォーメーションがパスなどのタイミングが狂い中断する。

－防御側が数的優位な状況の時。

※作用効果

－ボール保持者の攻撃の可能性を限定。

－直接のパス状況を閉ざす。

－攻撃者の攻撃の厚みを制限する。

－パッシブプレーの誘発。

－攻撃にとってパスカットされるような危険なプレーの誘発。

## ドイツの攻撃構想

－攻撃のきっかけとフォローのプレーの可能性－

この連載の一番始めに、「現代のハンドボールの特徴」をあげた。その中の攻撃面でいくつかの例をあげてあるが、その実際を世界選手権大会でドイツ・チームのプレーの中から見てみよう。

**戦術的なガイドライン**

※プレーの流れ、スピードを止めない。

※全てのプレーヤーは常に攻撃できるように準備しておく。

－前への動きの後、すぐに次の位置をとる。

－移行した後の新しいポジションですぐに次のプレーをする。

※ディフェンスの動きとは逆の方向に攻撃を展開し、フリーな空間を利用する。

※有利な位置が取れない場合、きっかけのプレーを変更して攻める。

## ■プレーの実際

**１.「１：１」をきっかけとした、ずらしのプレー**

ここで最も重要なことは、１：１のきっかけのプレーヤーが、自分が「カットインからシュートできるか」「プレーを継続しなければならないか」を状況に応じて判断することである。実際のプレー場面では、ボールをパスした後は、すぐにバックステップし、前へのスピードをもって切り返しのパスを受けシュートを狙う準備をしなければならない。

ここでは、左45度の動きを示している。

左45度は２人のディフェンスプレーヤーの間を攻める。ロングまたはカットインが打てるならばシュート、打てなければ、センターにずらしのパス。(図１)

左45度は、パスした後すぐにディフェンスとは逆の方向にバックステップし、センターからのリターンパスをもらって右45度とサイドディフェンスの間を攻める。(図２)

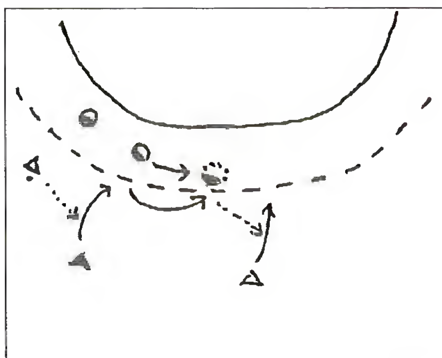


図１

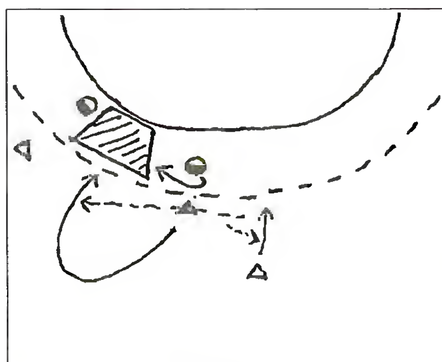


図２

**１：１をきっかけとしたプレーの原則**

※突破の動きの後、すぐにディフェンスとは逆の方向へステップバックする。

※ディフェンスとの間合いは、パスをもらってすぐにシュートが打てるようにとる。

※フォローのプレーは、ディフェンスの動きに応じて選択する。

## ２.「ブロック」をきっかけとしたプレー

ボールを持っているプレーヤーは、まずディフェンスがねらい通り、ブロックがかかるポジションに攻めていく。ポストプレーヤーは、自分がブロックしているディフェンスの動きを見て、ディフェンスが次にどのように動くかを予測することが大切である。

このプレーがうまく行かないチームは、ブロックプレーの練習で、単に「右45度のシュート」とか「ポストへのパス」だけを練習しているチームである。ディフェンスがブロックプレーを守った場合にでも、ねらいを持ってフォローのプレーを行なうためには、ディフェンスの状況に応じてプレーを続けること。すなわちパスをはなしてから有利な位置をとることがここでも重要である。

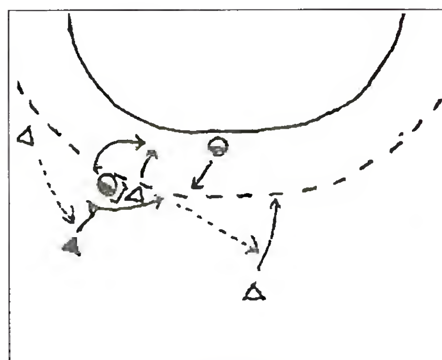


図３

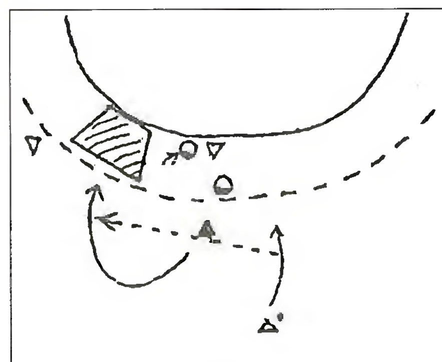


図４

**ブロックをきっかけとしたプレーの原則**

※きっかけのプレーヤーはブロックプレーが成功するよう前を攻める。

※ポストと45度の２人のプレーヤーのフォロープレーは、ディフェンスの動きによって決まる。

※プレーが成功しない場合には、攻撃プレーヤーはパスの後にディフェンスの動きに応じてプレーする。

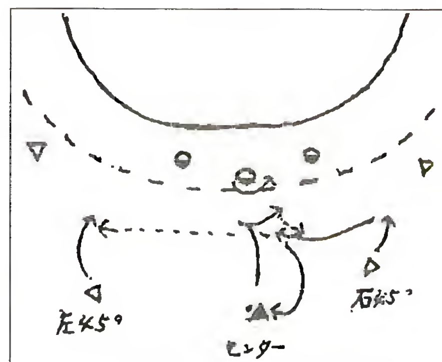



図５

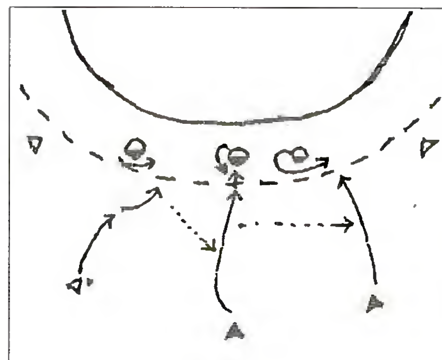


図６

### ３.「クロス」をきっかけとしたプレー

クロスのきっかけの局面では、「クロス」すると云う攻撃のねらいが早い時期に相手に分かってしまうとクロスしても有利な位置をとることが難しい。したがって、きっかけのプレーも状況的・創造的に練習しておく必要がある。

たとえば、センターと右45度のクロスにおいて、センターディフェンスが早い時期にチェンジし、右45度の走り込みをインで待ち構えている場合には、走り込みのコースを変更してアウトに攻めるといったプレーができるようにしておかなければならない。

また、引き続くフォローのプレーで、うまくクロスしてもシュートチャンスが生まれない時は、攻撃プレーヤーは、少なくともディフェンスを動かすようにプレーしなければならない。この動きは、次のフォローのプレー局面に重要であり、新しいポジションで、有利な位置をとりやすくなる。

クロスのきっかけとなるセンタープレーヤーは、ディフェンスを引きつけてクロスする。パスの後は、すぐに攻撃できるフリーなポジションに位置をとる。クロスを迎えに来る右45度は、もし直接シュートが打てない場合には、左45度にパスし、センターの位置ですぐにシュートが打てるような位置にステップバックで移動する。

**「クロス」をきっかけとしたプレーの原則**

※きっかけのプレーはパスのあとすぐに攻撃できるポジションに位置をとる。

※クロスを迎えに来るプレーヤーは早い時期に、走り込む方向、シュートかパスかを判断しておく。

※クロスを迎えに来るプレーヤーにパスした後、すぐに再びシュートが打てる位置をとる。

※次のプレーのタイミングを合わせる。

### 4.「ダブルポストへの攻撃システムの移行」をきっかけとしたプレー

ダブルポストへの攻撃システムの移行をきっかけとしたプレーは、まず攻撃システムを移行している間の位置取りの優位性を利用することが重要である。しかし、ディフェンスがうまく守り、有利な位置がとれない場合も多い。多くのチームは個々で攻撃を中断してしまう。これは、ダブルポストに移行してから、フォローのプランを持たずに攻めていることが原因である。ここでも、他のきっかけのプレーと同様に、基本的なフォローの原則にしたがってプレーを継続しなければならない。

右45度がボールなしで防御帯の中に走り込み、攻撃のきっかけを作る。移行した右45度はブロックで左45度に合わせる。このダブルポストへの移行中にチャンスがなければ、(この場合は) 右サイドからのパスで、すぐに攻撃を開始する。右45度にいるセンタープレーヤーは対角のポストとあわせ、リターンパスをもらってフォローのプレーを継続する。

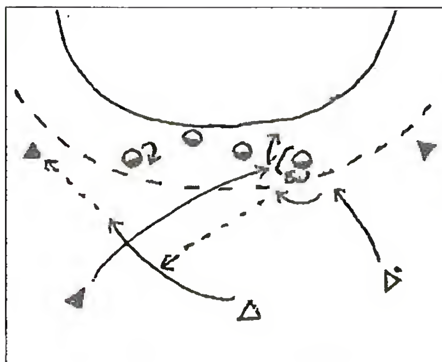


図7

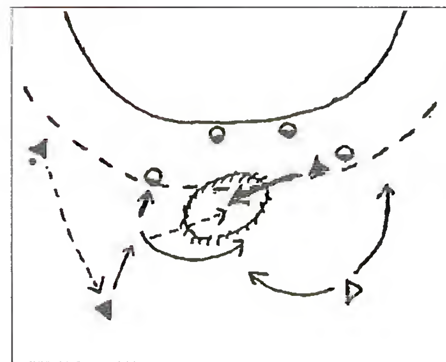


図8

**ダブルポストへの攻撃システムの移行をきっかけとしたプレーの原則**

※攻撃システムを移行している間の位置取りの優位性を利用する。

※2人のポストは移行した後、すぐにフローターやサイドプレーヤーと合わせる。

※フォローのプレーの可能性として

- ーブロック・逆見せかけのブロック
- ーリターンパス (壁パス)
- ー新しいポジションでの1：1と、そこからの連続プレー
- ーセンタースリーの攻撃システムへの移行

# 第8回ヒロシマ国際ハンドボール大会

## 大会要項

1．目的　　1994年に広島市において開催された第12回アジア競技大会を記念して開催次年度から始まった大会で、今年は女子の大会となる。
国際平和文化都市を標榜する広島において国際試合を行うことにより、ハンドボールを通じて参加国との友好を深める。

2．主催　(財) 日本ハンドボール協会・日本ハンドボールリーグ機構・中国新聞社

3．主管　広島県ハンドボール協会・広島市ハンドボール協会

4．特別協賛　株式会社モルテン

5．大会期間　平成14年7月18日（木）～7月21日（日）

6．競技会場　広島サンプラザホール

7．参加チーム（予定）
女子4チーム
・全日本ナショナルチーム
・中華人民共和国（実業団）
・韓国（実業団）
・広島メイプルレッズ・北國銀行・シャトレーゼの選抜チーム

8．競技規則　2002年国際ハンドボール連盟競技規則

9．試合方法　1回戦総当りリーグ方式

10．選手団　20名（16名の選手と残りは役員）

11．費用負担　(1) 参加チーム
11－1 自国と日本までの往復の航空運賃
11－2 空港利用税ならびに、査証取得に関わる費用
11－3 開催地が負担する宿泊日以外の宿泊費及び20名を超える者の宿泊費（1日1人 120米ドル）
(2) 開催地
11－4 競技会に関連する広島（日本）での全経費（電話、ファックス、クリーニング等の個人的費用は除く）。
11－5 1選手団につき最大20名までの宿泊費。
到着日（7月16日）から出発日（7月22日）まで（実質宿泊は6日）
11－6 国内での移動費

12．宿泊ホテル　広島市中区9－12 広島三井ガーデンホテル

13．審判　中華人民共和国、日本

14．入場料

| | 前売券 | 当日券 | 通し券 |
|---|---|---|---|
| 一　般 | 800円 | 1,000円 | 2,000円 |
| 高校生 | 400円 | 500円 | 1,000円 |

15．試合日程（予定）

7月16日（火）　広島着
7月17日（水）　代表者会議、審判会議、記者発表、県知事・市長表敬訪問
7月18日（木）　試合 15：00～高校招待試合（女）、17：00～、18：40～
7月19日（金）　試合 15：00～高校招待試合（男）、17：00～、18：40～
7月20日（土）　観光
7月21日（日）　試合 13：00～、15：00～、19：00～表彰式・サヨナラパーティー
7月22日（月）　広島発

# 第7回ジャパンオープンハンドボールトーナメント（第58回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会）実施要項



1 主催 (財)日本ハンドボール協会・静岡市・清水市
静岡市教育委員会・清水市教育委員会
NEW!!わかふじ国体静岡市実行委員会
NEW!!わかふじ国体清水市実行委員会

2 主管 静岡県ハンドボール協会

3 後援 静岡県・静岡県教育委員会
NEW!!わかふじ国体静岡県実行委員会
(財)静岡県体育協会・(財)静岡市体育協会
清水市体育協会

4 日程
(男子の部) 平成14年8月8日（木）～11日（日）
(女子の部) 平成14年8月8日（木）～10日（土）

5 会場
(男子)静岡市中央体育館・静岡市北部体育館
静岡市立高等学校体育館
(女子)清水市総合運動場体育館・清水市立第二中学校体育館

6 種別 男子の部・女子の部

7 参加資格
(1) 平成14年度 (財) 日本ハンドボール協会に年度当初「一般A」に登録された単独チーム及び個人とする。但し、大会申込締切後の追加・移籍での登録は認められない。また、日本リーグ（「一般L」登録）・全日本学生ハンドボール連盟・全国高等学校体育連盟ハンドボール部・全国高等専門学校ハンドボール部に登録されたチーム及び個人の出場はできない。
(2) 各地区の予選を通過したチーム、または地区の推薦を受けたチームとし、開催県は男女各1チームの出場を認める。
(3) 中学生以下の出場は認めない。
(4) 各ブロック出場割当数について

| 地区 | 北海道 | 東北 | 関東 | 北信越 | 東海 | 近畿 | 四国 | 中国 | 九州 | 開催県 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 1 | 4 | 6 | 3 | 3 | 5 | 2 | 3 | 4 | ① | 32 |
| 女子 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | ① | 16 |

8 参加人数 男女とも、1チーム役員6名以内、選手16名、計22名以内とする。(監督が選手を兼ねる場合は、選手としても参加申込をすること)

9 参加料 男女とも1チーム 30,000円

10 競技規則
平成14年度「(財)日本ハンドボール協会競技規則」による。

11 競技方法 男女とも「トーナメント方式」による。

12 組合せ抽選会 日時・平成14年7月5日（金）午後5時

13 表彰
(1) 男女とも優勝チームには、日本ハンドボール協会会長杯（持ち回り）を授与する。
(2) 第1位から第4位までのチームには賞状を授与する。
(3) その他

14 諸会議日程
(1) 審判会議
平成14年8月7日（水）午後2時から（静岡市中央体育館）
(2) 代表者会議
平成14年8月7日（水）午後4時から（静岡市中央体育館）

15 開会式 男女とも平成14年8月8日（木）午前8時30分から（静岡市中央体育館）

16 表彰式・閉会式
女子の部…平成14年8月10日（土）決勝戦終了後
（清水市総合運動場体育館）
男子の部…平成14年8月11日（日）決勝戦終了後
（静岡市中央体育館）
※男女とも3位チームは必ず表彰式に出席して下さい。

17 競技申し合わせ事項
(1) 同点の場合の延長戦は、準決勝までは、第1延長とし、その後7mTCで決する。
(2) 背番号は、大会申込書に記載された番号（№1～16）と同一のものを使用する。
(3) シューズは、体育館履き専用を着用し、屋外履きシューズとの区別をすること。
(4) 試合球は、男女とも「公認球（現在メーカー未定）の手縫いボール」とする。
(5) 松ヤニの使用は、競技会場のみ認める。(松ヤニスプレーの使用は禁止する)
(6) 選手・監督は、(財) 日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。各試合の開始前に登録証をもって本人であることを確認する。登録証を携帯していない場合は試合に参加、出場することができない。
(7) チームの責任者は、「指定のマーク」をつけること。
(8) 参加資格に違反したり、その他不都合な行為があったときは、そのチームの出場を停止することがある。

18 その他の事項
(1) 大会の結果、男女とも上位チームは、「全日本総合選手権大会」に推薦される。
(2) 各チーム代表者は、ユニフォーム持参のうえ代表者会議に必ず出席すること。
(3) チーム責任者は、大会期間中の選手の行動に関して一切の責任を負うものとする。
(4) 大会参加チームの役員・選手は、必ず大会事前に健康診断を受けて参加するものとし、大会中は健康保険証を持参すること。なお、各チームの選手は各自スポーツ傷害等の保険に加入のうえ大会に参加する。
(5) 競技中に生じた疾病・傷害等の応急処置については主催者側で対応するが、その後の責任は一切負わない。
(6) 参加のチームは、部旗（旗竿を含む）または、それに準ずる旗を用意する。
(7) 選手は、開会式関連行事には必ず出席すること。原則として揃いのユニフォームを着用すること。

# 第4回全日本ビーチハンドボール選手権大会兼

第6回ワールドゲームズ兼
第1回世界選手権大会記念

# 第1回東北ビーチハンドボール選手権大会

## 開催要項

1. 趣旨 2001年に秋田県本荘市で開催された第6回ワールドゲームズ兼第1回ビーチハンドボール世界選手権大会を記念し、水辺のスポーツ「ビーチハンドボール」の愛好者が一堂に集まり、親睦を深めることで、生涯スポーツの普及・振興、健康の保持・増進、海辺の美化・活性化を図る。
2. 主催 (財)日本ハンドボール協会 東北ハンドボール協会
3. 主管 秋田県ハンドボール協会
4. 後援 本荘市 本荘市教育委員会 本荘市観光協会
5. 期日 平成14年7月20日(土)・21日(日)(雨天決行)
6. 会場 秋田県本荘市 本荘マリーナ海水浴場
7. 競技規則 男子の部 女子の部
8. 競技規則 平成14年度日本ハンドボール協会ビーチハンドボール競技規則による。
9. 競技方法 リーグ戦方式(出場チーム数により変更もある)
10. 競技日程

【20日(土)】
９：００～ 体験教室
１０：１５～ 審判講習会・ルール説明会
１２：００～ 代表者会議
１２：３０～ 開会式
１３：００～ 試合開始

【21日(日)】
９：３０～ 試合
１３：００～ 閉会式(予定)

11. 参加資格
・16歳以上の男女で、未成年者にあっては保護者の承諾を得ること。
・平成14年度(財)スポーツ安全協会傷害保険、または任意保険に加入していること。
・開会式および大会両日に必ず参加できるチームであること。
12. 参加料 【大学・一般】8,000円/1チーム
【高　　校】3,000円/1チーム(当日持参)
13. チーム編成 監督・コーチ・マネージャー各1名、選手10名の1チーム13名以内とする。
14. 組み合わせ 主催者側で責任を持って抽選し、結果を各チームに連絡する。
15. 表彰 優勝・準優勝のチームに楯を授与する。
16. 審判 各チーム2名の帯同審判制を採用する。有資格者がいない場合、当日の審判講習会・ルール説明会を受講すること。

## トップレフェリー研修会要項

平成14年度全国大会並びに日本リーグ担当予定レフェリーに対し、新競技規則の解釈と運用についての統一をはかるための研修会。

主なテーマを
・パッシブプレイのシグナルと判定のタイミング
・7mスローを判定するケースについて　　とする。

1. 助成団体 大崎企業スポーツ事業研究助成財団
2. 期日 平成14年7月20日(土)～22日(月)3日間
3. 会場 広島県広島市「サンプラザ」
4. 対象 平成14年度全国大会審判長・副審判長・審判員・日本リーグ担当審判員・チーム指導者 約200名
5. 指導者 審判部長・審判審査指導委員
6. モデル ・広島国際大会・湧永製薬チーム・日新製鋼チーム
7. 宿舎 ・サンプラザ・サムシングホール/ドルフィン
・広島ダイヤモンドホール
8. 日程

【7月20日】
13:00～13:30 受付と昼食
13:30～ 大西専務理事挨拶
13:45～ 審判部長基調講演
14:30～ 講演 高村誠一氏
15:00～ 新競技規則解説(岸本ルール研究委員長)
16:00～ パッシブプレイに関する研究(島田審査委員)
17:00～ ペーパーテスト
18:00～ 質問に対する回答

【7月21日】
9:00～11:00 実技研修・ゲーム運営 ・7mスロー判定
11:00～ 講話(福田審査委員長)
12:00～ 体力テスト(クーパーテスト)
14:00～ 広島国際大会レフェリーチェック
17:30～ 質問に対する回答

【7月22日】
9:00～ コーチとレフェリーとの討論
昨日のゲーム運営を基に
12:00～ 解散予定

# 第15回全国小学生ハンドボール大会開催要項

**1. 趣旨**

本大会は、全国の少年少女にハンドボール競技の歓びを経験する機会を広く提供し、競技を通じて少年少女相互の交流と友情を深めるとともに、体力の増強と健全で豊かな心の育成を図ることをねらいとして実施する。

**2. 主催**　(財) 日本ハンドボール協会

**3. 共催**　京都府京田辺市

**4. 主管**　京都府ハンドボール協会

**5. 後援**

文部科学省、(財) 日本体育協会、日本スポーツ少年団
京都府、京都府教育委員会、京都市教育委員会、八幡市
八幡市教育委員会、(財) 京都府体育協会
京田辺市教育委員会、京田辺市社会体育協会
近畿ハンドボール協会、八幡市ハンドボール協会
NHK京都、KBS京都、京都新聞社、洛南タイムス社
笹川スポーツ財団SSFスポーツエイド事業

**6. 協賛**

オムロン株式会社、株式会社モルテン、東急観光株式会社

**7. 期間**　平成14年8月2日 (金) ～8月4日 (日)

**8. 会場**

京田辺市田辺中央体育館・同志社大学体育館
京都府立田辺高等学校体育館

**9. 参加資格**

(1) 日本ハンドボール協会平成14年度登録チームであること。

(2) 小学4年生から6年生までの男子及び女子とする。

(3) 各都道府県ハンドボール協会またはスポーツ少年団本部の推薦チームで、各都道府県男女1チームとする。ただし開催地については別に定める。

(4) 平成14年度スポーツ安全協会スポーツ安全保険に加入していること。

**10. チーム編成**

(1) 1チームにつき、役員5名以内、選手20名以内とする。
役員とは、引率責任者 (団長)、監督、コーチ、マネージャーとする。

(2) 各チームは、必ず引率責任者によって引率され、大会期間中、選手の全ての行動に責任を負うものとする。

**11. 競技及び方法**

(1) 2002年度日本ハンドボール協会競技規則に準ずる。

(2) 競技場は36m × 20mとする。

(3) 使用球については、(財) 日本ハンドボール協会検定球 (小学生1号球モルテンボール) とする。

(4) 試合における松ヤニ・粘着スプレー・両面テープ等の使用は禁止する。

(5) 試合方法は、予選リーグ及び決勝トーナメント方式とする。(参加チーム数により変更する場合がある)

(6) 競技時間は、参加チーム数により後日決定し、各チームに連絡します。

**12. 参加料**　無料とする。

**13. 参加上の注意**

(1) 参加申込書には、各都道府県協会長の承認印を受けること。

(2) 選手の健康診断は必ず各都道府県協会の責任において全選手に実施すること。

(3) 参加選手は、健康保険証 (コピーでよい) を必ず持参すること。

**14. 組み合わせ抽選**

組み合わせ抽選は、主催者で行い、後日各チームに連絡します。

**15. 表彰**

男女各1位～4位まで表彰する。
男女優勝チームの監督を優秀監督として表彰する。

## ユース世界選手権と ビーチハンドボール世界選手権

秋田での素晴らしいプレミアショーに続き、IHFはビーチハンドボール世界選手権を近い将来再度開催する事を願っており、それを定着させたいと思っている。男女ナショナルチームのユース世界選手権も同様に考えており、イベントカレンダーに載せられていくだろう。

147の加盟連盟に対して行った調査の助けを受け、IHFはこれらの行事に対する加盟連盟の興味を現在計っているところである。現在までのところ加盟連盟の反応は例外なく積極的である。

## 評議会構造改革を探る… 決定はIHF総会の決定次第

IHFは前回の評議会会議で、IHFの構造改革をサンクトペテルブルグ（ロシア）で開かれる総会まで延期した。目的は最新かつ効率的でプロとしてのIHF組織を作り出すためである。

## 新しいビーチハンドボールのルール採用

2001年秋田での第1回ビーチハンドボール世界選手権を経験したIHF競技規則及び審判委員会は、ビーチハンドボールのルールブックを再検討し、評議会も承認済みの有益な修正を行った。新ルールは全世界に適用され、修正版は公用語に翻訳後、加盟連盟や興味ある人達に無料で配布される。

## 世界選手権ヨーロッパ予選では 1試合に14選手

IHFの承認を得て、ヨーロッパハンドボール連盟（EHF）は、2003年世界選手権予選では1試合につき14名の選手を承認する。これにより評議会はEHFのこの件に関する動議を許可した事になる。現行の国際ルールによれば、12選手のみが参加資格を持っている。しかしヨーロッパ内で得られた貴重な経験からIHFは特別許可を下した。

その他、2003年世界選手権では1チーム当たり選手14名とする事を一般的に承認した。規則でこのルールを確立することは、内規により2004年となる。

## セイシェルとベトナム、IHFに加盟希望

セイシェルとベトナムは第148番目と149番目のIHF加盟国となりそうだ。両連盟は各大陸連盟（アフリカとアジア）に加盟依頼を提出、カサブランカとプサンで開かれる総会で承認されれば、サンクトペテルブルグで開かれるIHF総会で正式会員の決定がなされるかもしれない。

147の加盟連盟は各大陸以下の通り

| | |
|---|---|
| アフリカ | 45 |
| アジア | 32 |
| ヨーロッパ | 46 |
| オセアニア | 5 |
| パンアメリカ | 19 |

## スーパーグローブ4大陸のトップチームが ドーハで競う

スーパーグローブは、クラブチームの非公式世界選手権で1997年第1回が行われた。第2回は2002年6月3日～9日までカタールの首都、ドーハで行われる。

参加チームは以下の通り。

アジア…アルサルミア（クウェート）
アジアクラブチャンピオン

アフリカ…FAPカメルーン（カメルーン）
ババカールフォールスーパーカップチャンピオン

ヨーロッパ…SCマグデブルグ（ドイツ）
EHFスーパーカップ勝者

パンアメリカ…メトディスタ・サンパウロ（ブラジル）
パンアメリカチャンピオン

開催国…アルサード（カタール）　アジアの2位

地元連盟の強力な支援を得て、上位3チームには総額65,000USドルの賞金が出る。更に開催国は、参加チームの費用も負担する。

## 男子ジュニア世界選手権、 アルジェリアの辞退を受けてブラジルへ

2000年IHF総会で、2003年男子ジュニア世界選手権をアルジェリアハンドボール連盟に授与したが、火事や水害など同国内の自然災害のため、体育館は家を失った多くの人のために使わざるを得ない状況になっている。

IHF評議会は前回の会議でこの件を取扱い、同選手権をブラジルに依頼した。

女子ジュニア世界選手権開催国は依然募集中。

## アフリカ選手権兼世界選手権予選

4月19日～28日にラトバとカサブランカで行われたアフ

リカ選手権兼WC2003予選で、アルジェリア、エジプト、モロッコ、チュニジアが資格を得た。

チュニジアは、決勝でアルジェリアに25－19で勝利、エジプトは、準決勝でチュニジアに敗れたが、3位決定戦で驚異的に強かった開催国モロッコに35－25で勝ち踏みとどまった。

女子は、アンゴラ、コートジボアール、チュニジア。アンゴラは、コートジボアールに30－21で勝利、アルジェリアは、大事な3位決定戦でチュニジアに敗れ、参加資格を逃した。

## 2003年男子世界選手権成績順枠

アフリカ選手権の結果、ポルトガルの男子世界選手権出場24チームのうち12チームが決まった。現在の成績順枠は、以下の通り。

ヨーロッパの残りの枠は6月初め、パンアメリカとオセアニアは7月前半に決まる。

この世界選手権の組合せ抽選会は、7月末ポルトガルで行われ、最終日程はIHFと開催国により決定される。

## 2005年ワールドゲームズ in デュイスブルグでビーチハンドボール

2005年ワールドゲームズは、7月14日～24日まで、デュイスブルグ（ドイツ）で行われ、ビーチハンドボールが公開競技として再び登場する。国際ワールドゲームズ協会からIHFに連絡があったもの。

ご承知のように、ビーチハンドボールはワールドゲームスでは2001年秋田ではじめて行われ、第1回世界選手権も同時に行われた。海岸で行われたこのハンドボールが非常に好評だったため、開催国は2005年にも行う事を決定した。

## イベントカレンダー

6月25日～7月3日‥第5回女子世界大学ハンドボール選手権、ヴァレンシア（スペイン）

7月3日～7日‥HFコーチシンポジウム（ポルトガル）

7月9日～15日‥第7回女子ジュニアアジア選手権兼世界選手権予選（ヨルダン）

7月25日～8日‥第9回女子アジア選手権兼世界選手権予選（カザフスタン）

| | | | |
|---|---|---|---|
| フランス | スウェーデン | ドイツ | チュニジア |
| デンマーク | ヨーロッパ4 | ヨーロッパ5 | ヨーロッパ6 |
| ヨーロッパ7 | 開催国ポルトガル | アルジェリア | ヨーロッパ8 |
| クウェート | エジプト | ヨーロッパ9 | パンアメリカ1 |
| ヨーロッパ10 | ヨーロッパ11 | パンアメリカ2 | パンアメリカ3 |
| カタール | モロッコ | サウジアラビア | オセアニア |

toki-meki.com

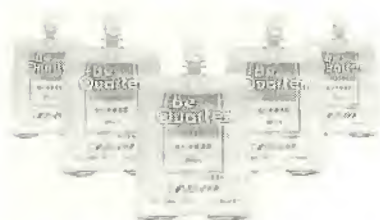
見ているだけでも楽しくなっちゃう！

# こだわり商品勢揃いの
# インターネットショッピングサイト

# http://www.toki-meki.com/

## ◆◆◆◆◆◆◆ 今月のバイヤーお勧めアイテム ◆◆◆◆◆◆◆

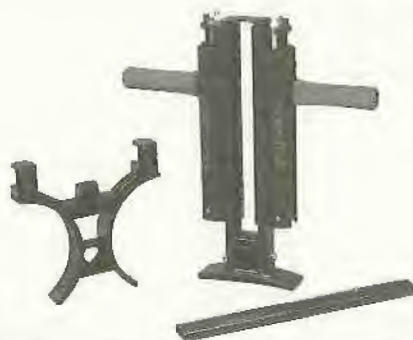
**そろそろ夏も本番！　効率よく運動して、健康ボディになろう！**
お求めは、ときめきドットコム "＋@ビューティ" カテゴリー内、"ヘルス&フィットネス用品" で！




### Be. Quarter

●商品番号：207-900（20個セット）　**6,000円**

ゼリー状の機能性飲料。運動を開始してから脂肪が燃焼されるまでに要する時間は、約20分。この20分間をガマンできずに挫折する方も多いのでは？ このBe.Quarterを運動開始15分前に飲むことで脂肪の燃焼開始時間を大幅に短縮。30分ぐらいでその効果は最大に達し、その後3時間以上も高いレベルで効果を保ちます。ガルシニアとカフェインを配合することによる運動時の脂肪燃焼への相乗効果は、学会でも認められています。さらにその後8時間に摂取する脂肪の吸収を妨げるというまさに理想的なスポーツ飲料です。スッキリとしたライチ味で、34kcalと低カロリー。





■商品番号一覧

| | 商品番号 ライト | 商品番号 スタンダード | 商品番号 ヘビー |
|---|---|---|---|
| 22cm | 207-902 | | |
| 23cm | 207-903 | | |
| 24cm | 207-904 | 207-908 | |
| 25cm | 207-905 | 207-909 | 207-912 |
| 26cm | 207-906 | 207-910 | 207-913 |
| 27cm | 207-907 | 207-911 | 207-914 |

### ミニジム

●商品番号：207-901　**8,500円**

多彩なエクササイズが可能な軽量・コンパクトなミニジム。いつでも、どこでも気軽に運動ができ、腕・お腹・脚・ヒップのシェイプアップに効果的です。ラバーチューブの組替えで自分にあった負荷に調節できます。重さわずか1.5Kgなので、女性の方も使いやすいですよ。

### シェイプアップウエイトインソール

●ライト　**2,680円**
●スタンダード　**2,950円**
●ヘビー　**3,130円**　※商品番号は上記の表をご覧ください。

ダイエットに健康維持にウォーキング。通勤時や散歩時に靴の中に入れておくだけで通常より多くのエネルギーを消費します。

表示価格には消費税・配送料は含みません。支払い方法など、詳しくはサイトをご覧下さい。

お申し込みは、下記要領で

お電話からは　FreeDial **0120-215-621**
受付時間：10:00～17:00（土日祝も営業しております）　住所：東京都中央区京橋2丁目8番18号昭和ビル3階

パソコンからは　**http://www.toki-meki.com/**
ケータイからは　**http://mobile.toki-meki.com/**

シーアンドエスグループは、日本ハンドボールチームを応援しています。

株式会社シーアンドエスは、サークルケイ・ジャパン株式会社と株式会社サンクスアンドアソシエイツの共同持株会社として発足しました。

シーアンドエスグループ　サークルK　サンクス　ときめきドットコム

# 協会だより

## 平成15年5月度常務理事会

［日　時］平成14年5月11日（土）
11時～16時
［場　所］明治神宮記念会館特別研修室
［出席者］山下副会長、大西専務理事、
常務理事7名、監事2名、
参事1名、事務局5名

会議に先立ち、故斎藤英四郎名誉会長に対して黙祷が捧げられた。

### 議題

平成13年度決算書及び14年度第1次補正予算承認の件平成13年度決算書について、審議の後再検討されることとなった。平成14年度第1次補正予算について説明があり、審議の後再検討されることとなった。

1. 平成13年度事業報告について

平成13年度事業報告について説明がなされ、承認された。

2. 一般会計予算10％削減の件

アテネオリンピック予選開催に当たり、多額の資金が必要である。日本協会としても資金を確保しなければならない。各事業部とも積極的な経費節減が依頼された。

ジュニア男女遠征及び男子代表フランス遠征団長の件責任ある人の団長選出が依頼された。派遣役員予定表を変更。

3. 外国人選手について

日本リーグ、強化部、選手育成などの立場、試合の方法論などから意見が述べられた。プロ選手に関連して、大崎財団での区分が以下のように紹介された。

(1) 社員選手　就業時間終了後（17時以降）
(2) 選手社員　就業時間途中15時以降、社会・労働保険適用
(3) 契約選手　パートタイマー、労災保健適用
(4) プロ契約　労働、社会保険は各自で

以上の実態を踏まえ、他団体の実情を調べて纏める事とした。

4. ユニフォーム広告の件

「ユニフォーム広告に関する細則」を、現状に合わせて全体を見直す必要がある。

5. 国体改革、大分国体（2008年）について

参加人員4,500人削減、規模縮小は理解するが、競技間で同等に削減してほしいと要望。ハンドボール、バレーボールは夏期移行（9月）構想。すべて体育館で競技可能。全体の案として、夏秋を1回にまとめ、2から3週間で終わらせる予定。理事会に提案。

6. 社会人連盟設立準備について

種々意見が述べられ、再整理の上提案する事となった。

海外遠征時の協会役員分担金の取扱について要望が述べられた。

7. 本年度日本リーグについて

第27回日本リーグは、男子1部・2部、女子1部とも3回戦総当たりになる。男女1部の1回戦は、C＆S協賛のカップ戦とする。

ブラザー工業について、5月31日までは従来通りの名称で登録、その後本年度日本リーグ開始の時点で、新しいチーム名を登録する。年度内登録名変更の特例とする。

8. 各種規程について

現在の規程集をそれぞれの部署に配布、改めてチェックし再提出。

9. J級指導員について

登録料、講師の問題を再検討の上再提出。

10. NTSの強化方針について

NTSは日本ハンドボール協会の強化指導の中心になるものである。

VTRとテキストについて、受講料に含める、高校生も対象とするべき、シリーズ化するべき、などの意見があった。価格については、再度検討する。

11. その他

AHF審判長の後任について、東アジアで確保すべく中国のリー氏にお願いしたい。不可能な時は日本で引き受けるべく相談する。

### 報告事項

1. アジアハンドボールの正常化について

イランでの大会の問題について、日本ハンドボール協会としては、中国、韓国に出向いて折衝した。日中間でとりあえず立ち上げ、次ぎに韓国にも働きかける。第1回会合を8月北京で開催。以降、クラブリーグ、アジアリーグの交流を持つ。将来は3ヶ国協定を結ぶべく8月に案を持参する。

2. 広報関係（機関誌）の充実について

広島メイプルのNPO写真、フットサル競技との異競技間連携、レベルアップしたプレーオフ大会、執行部の動き（中国、韓国）訪問、国際委員会、マーケティング委員会など内容を多方面から捉え、活性化を図る。マンガの掲載など意見があった。

3. 平成13年度日本協会大会感謝状の件について

大きな大会の後に、行政に対する挨拶状または感謝状を贈呈するべき。

4. 平成13年度日本協会表彰者推薦の件

日本協会候補の推薦があった。

5. アジアナショナルサーキット2002

アジアナショナルサーキット2002について、意見があった。

6. ナショナルP合宿予定について

ナショナルPチーム合宿4予定について説明があった。

7. プロジェクト21について

資料に基づき説明があった。

8. ビーチハンドボールアジア選手権について

国内ゲーム、普及を優先し、アジア選手権には不参加。

9. その他

6月4日故斎藤英四郎名誉会長の「お別れの会」が開催される。

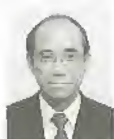
正副会長・専務理事会開催の要望

TV神奈川で7月より「世界のハンドボールの状況、日本ナショナルチームのゲーム」が放映される。

## 「がんばれハンドボール10万人会」5月新規入会・継続更新会員の紹介

【北海道】山辺文彰、清水幸彦、川村徹治、上門紀明、浅野潔裕、木下枝里、斉藤寛人、伊藤孝昌、小林一久、三宮典子、小路谷勝巳、佐々木千春【岩手】多田和生、藤村善光【宮城】菅間　進【栃木】八木　豊、高橋隆夫【群馬】高橋萬知子、齋藤かをる【埼玉】佐藤美貴、西濱弘幸【東京】塩川安賢、緑川正博、吉田久士、茂木　均、奥井正浩【神奈川】斎藤達也、吉澤和美、近久紀人、松岡正彦、関　光二郎、小澤摩里子、小峰孝太、川本拡史、藤嶋航太、伊藤信夫、斉藤航大【愛知】浅野克彦、安藤　孝、禰津行雄、村木啓作、山下泰典【三重】斉藤泰貴、堤　政近、横地康介、千石栄治、池本　聡【大阪】大井隆史、吉田敏明、ホテルクライトン江坂、脇田良子、田中いつみ、草井文子、大西和雄、幸田富久子、幸田敦子、北岡大覚、小川淳一【兵庫】松本茂宏、山本英明【奈良】中村　治、中村雅代【島根】宮里健一【広島】有田　忍、高田順三、高原裕子、荒川正人【徳島】阿部　隆【愛媛】河本武夫、吉住牧人【福岡】下田昭弘、田中　守、松尾勝也、平島夏生【長崎】今村豊嗣、石塚大河、原田国男

## 新事務局員紹介


茂木　均

「昨年9月より日本協会に勤務し、日本リーグを担当しています。

昔、サッカー青年、現在は週末は決まってテニスコートとスポーツ大好き人間です。

大会運営に携わっていただいている全国の関係者の方々に対する感謝の気持ちを忘れずに、日本リーグが全国のハンドボールファンに支持されるよう、微力ではありますが頑張っていきます。

佐藤美貴共々宜しくお願いいたします。

リーグに対するご意見等ございましたら、どしどし事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。


佐藤美貴

今年4月より、日本協会職員となりました。日本リーグ、機関誌、がんばれハンドボール10万人会を担当しています。

私にとって「ハンドボール」は、どのスポーツよりも魅力のある№1スポーツです。大好きなハンドボールの仕事に就くことができ、非常にやりがいを感じています。

全国のハンドボールファンの皆様の期待に応えるためにも、また運営に携わる役員の方々のお役に立てるよう、頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

## マンガ募集

機関誌編集委員会では、誌面充実のためマンガを募集いたします。ハンドボールに関連する題材であれば、なんでも結構です。日本協会編集委員会までご連絡ください。

## 【7月の行事予定】

〈会議〉常務理事会　7月13日(土)　東京
〈大会〉
第5回世界女子学生選手権大会
　6月25日(火)～7月4日(木)　スペイン・バレンシア
スーパーチャレンジ2002　7月3日(水)～9日(火)
　熊本・神戸・岐阜・名古屋・川崎（18ページ参照）
第22回全国クラブ選手権　西　7月12日(金)～14日(日)　徳山
第4回全日本ビーチハンドボール選手権大会
　7月20日(土)・21日(日)　秋田・本荘
第8回ヒロシマ国際大会　7月18日(木)～21日(日)　広島
第22回全国クラブ選手権　東　7月26日(金)～28日(日)　本宮
第10回マスターズ大会　7月26日(金)～28日(日)　豊田
第9回アジア女子選手権兼世界選手権 2003予選
　7月25日(木)～8月1日(木)　カザフスタン

### ★編集後記★

ワールドカップは日本中を熱風で包み込んだ。不況・政治不信・先の見えない時代、暗いニュースで覆われていた日本が一気に元気づき明るくなった。プロ化のため活性化委員会を設置して14年、日本サッカーの水準向上・スポーツ文化の振興・国際社会への貢献という3点の目標をサッカー界は達成した。海外のメディアの日本礼讃、スポーツ（サッカー）への国民の注目、経済効果等々、ワールドカップがもたらしたものは大きい。Jリーグ立ち上げから今日まで、従来のしがらみにとらわれずに多くの議論と検討を重ねてきたサッカー関係者に改めて敬意を表したい。

ワールドカップ観戦で感激した首相をはじめとする政府高官がスポーツの意義を認識し、この感動を深く心に刻んで欲しい。それが実行に移されれば、Jリーグ100年構想にもある「地域に根ざしたスポーツクラブ」が各地に見られる日はそう遠くない。使途不明の補正予算・支援委員会のプール金等をちょっとスポーツ文化の普及、地域社会のスポーツクラブ化等日本の未来への投資として予算化してくれればいいことなのだから。

企業スポーツの廃部があいつぐ「冬の時代」に春の兆しが見えてきた。2002年、ハンドボール界にも新風が吹くに違いない。今、この時を逃さず、日本ハンドボールの水準向上・ハンドボール普及のため、前向きな議論と検討を重ねて行く必要を痛感している。

（N．U）

## HAND BALL CONTENTS Jul


（登録チームの購読料は登録料に含む）

# 2002コートの主役




**PKCH3-AD　　¥4,600**

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用
天然皮革




**PKCH2-AD　　¥4,500** パ

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革




MIKASA
株式会社 ミカサ

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四三一号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可 平成十四年六月二十六日印刷 平成十四年七月一日発行

東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振 〇〇一二〇—七—一〇二九三

編集兼発行人 大西武三

定価 年間三三〇〇円